



2024 ふれあい 感謝祭 開催

それいけ!アンパンマン
握手会・撮影会

組合員・地域のみなさまへ 日頃のご愛顧を込めて

JAひろしま呉地域は11月15日と16日の2日間、JAの農協会館で「ふれあい感謝祭2024」を開催しました。

館内を活用して6階をメイン会場に各階ブースを設置。今回はそれいけ!アンパンマン握手会・撮影会や江田島市出身のお笑い芸人 三浦マイルドさんのステージをはじめ、2階駐車場にはパトカーの展示、支店ブロックの屋台を出店しました。また、各地域の特産品販売や農産物の詰め放題、JA女性部バザー、農機具、農産物品評会、セリ市に食堂、各種相談コーナーなどを設け、約1,500人の来場者で賑わいました。

6階：イベント・催物・展示販売会場



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



JA女性部バザー



JAひろしま
特産品販売



三浦マイルド
お笑いステージ



お米の
すくい取り



JAバンク
広島



JA共済連
広島



農産物詰め放題
(みかん・キュウリ・ピーナッツ)



3階：食堂テラス (JA女性部・三宅水産)



うどん・焼きそば・たこ焼きの販売



呉グリーンセンター特売



5階：農産物品評会・出品物セリ市



屋台コーナー
(各支店ブロック)



こだわり健肥堆肥詰め放題



2階：駐車場スペース (各支店ブロック・呉警察署)

呉警察署から
パトカーも
やってきました



JA広島北部
地域の皆さん



なるほどえ〜のう！ 営農情報

落葉果樹

共通事項

▽せん定

落葉果樹は11月中旬頃から、紅葉・落葉し枝がむきだしになるような状況が望ましいです。

葉色が緑色のままです。ついでとも葉が残っている場合や、枝の先端部の落葉が極端に遅い状況は、枝の充実が良くないと思われま。

逆に適期よりも極端に早く落葉するのは、多くの場合、根に何らかの障害があるものと考えて、根元や根を調査してみる必要があります。

イチジク

先月に引き続き、2月までに行ないま。

▽園内の清掃
せん定枝・葉・残果は、病害虫の発生源となりますので、園外に持ち出して処分しましょう。

▽土づくり
完熟たい肥などの有機物を投入し物理性を改善しましょう。

ただし、未熟堆肥やパーク堆肥などは土壌病害の発生原因になりますので注意しましょう。

堆肥は様々な商品がありますが、JAでは『こだわり健肥』を推奨しています。

イチジクは中性に近いアルカリ性土壌(pH7.5)を好みます。苦土石灰やカキガラ資材(マリンカル)を10aあたり100kg施用しましょう。

▽排水路の整備

水田跡に植栽している場合など、水はけの悪い園地は、溝切などを行ない、排水対策を行ないま。

カキ

▽せん定

樹が高すぎると、管理作業がしにくいので、樹高の切り下げを行ないま。3〜4年かけて、枝を下げながら下部の枝を伸長させ、実がなる位置を下層に移していきます。

カキは昨年生長した枝の先端に花芽がつくので、枝の先端を切つてはいけません。間引き中心のせん定を行ないま。

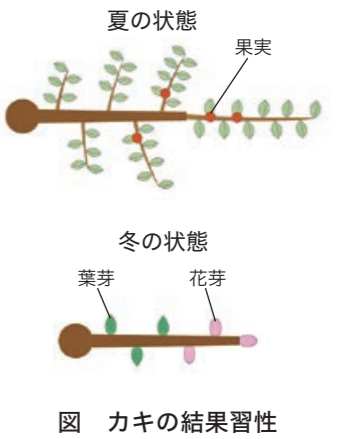


図 カキの結果習性

▽せん定
先端が垂れ下がらないように主枝・亜主枝の先端は強く切り返し、枝を切るだけでなく、枝の誘引や添え木を行ないま。

枝が混んで日陰ができると、枝がはげ上がりやすくなります。樹冠内部まで光が入るようにせん定を行ないま。

太い切り口は枯れこみが入りやすくなるので、基部から20cm程度はほぞを残して切りま。

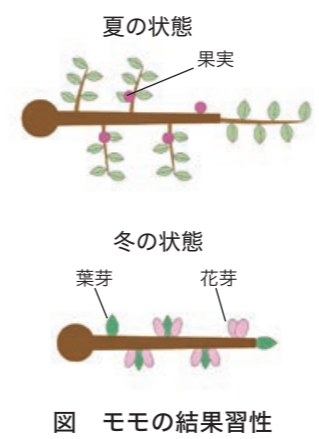


図 モモの結果習性

家庭菜園

1年の中で最も寒い季節である1月は、気温が低くて何も種まきできないイメージの方が多くかと思いま。しかし、しっかりと「防寒対策」をすれば、この時期でも種まきできる野菜はあります。冬の寒さから野菜を守る防寒対策と資材についてご紹介いたしま。

寒さに比較的強い野菜でも凍えるような寒さでは生育が滞り、葉が痛んだり枯れたりしま。越冬するエンドウやソラマメなども霜に当たると株が痛みやすくなり生育にも悪い影響が出ま。

そこで、活躍するのが「防寒資材」です。

露地で用いる防寒資材には、ビニールやポリエチレンフィルム、不織布などがあります。寒冷紗も霜よけに有効です。このような防寒資材を使うと、冬の時期にハウレンソウやコマツナ等の葉物野菜やダイコンやニンジンなどの根菜類の栽培ができます。

ただし、防寒資材での保温にも限度があります。ビニールトンネルなどでは昼間は温度が高くなりますが、夜間は外気温と同じくらい低くなるので注意しま。

防寒資材を使った防寒対策

・マルチング資材で地温を上げま。

畑の地面を覆うことを「マルチング」といいますが、寒い冬場には地温を上げる効果のあるポリマルチを使いま。ポリマルチには様々な種類がありますが、地温の上昇効果を求めるなら、透明・緑・黒のマルチを使いま。地温が上がりやすく、雑草の発生も抑えることができる「黒マルチ」がおススメです。

ポリマルチは地面との隙間が多いと風でバタついてはがれやすくなるので、畝の表面をきれいにし、ピンとピンと張るのがポイントです。

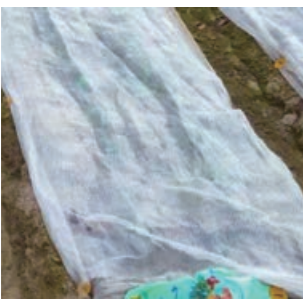
マルチの中にはすでに植穴のあいた「穴あきマルチ」もあり、作業の省力化もできます。

・被覆資材や保温シートで霜よけや外気を遮断しま。

栽培する作物や気温などに合わせて使用する資材を選びま。防寒用の被覆資材としては、保温シート類に比べて効果は劣りますが、不織布や寒冷紗も使用しま。例えば、コマツナやハウレンソウなどの寒さに比較的強いものは不織布や穴あき保温シート、エンドウやソラマメ等、寒さに強く越冬するものは霜よけ用に不織布や寒冷紗を使いま。

不織布

ポリプロピレンの繊維を織らずにシート状にしたもの。保温効果や霜よけに効果があり、光も通すので冬季は葉菜類や根菜類のべた掛けなどに使用されます。軽く扱いやすい反面、風に飛ばされやすいので、固定はしっかりと行ないま。



ポイント
不織布は素材が軽いので、作物の上に直接かぶせて使用できます。圧迫が少ないため、ハウレンソウやコマツナなどの葉菜類でべた掛けにおススメです。

寒冷紗

寒冷紗は遮光や防寒、防虫などに使われる網目状の布です。通気性と吸水性・遮光性があり、保温・凍害・霜害も防ぐ万能な資材です。トンネル掛けでは一般的によく利用されています。



ポイント
寒冷紗には白色と黒色があります。保温と凍霜害を目的とする冬場の使用では白色タイプの寒冷紗を利用し、遮光を目的とする場合には黒色の遮光ネットタイプを利用しま。

保温シート

トンネル掛けにして使用しま。トンネル掛けをする場合、内部が高湿・多湿にならないように換気を行ないま。また、保温効果が薄れますが、無数の小さな穴をあけたものや、一定間隔に穴をあけたものなどを使えば換気の手間が省けます。

MEMO
あけましておめでと〜い
ます。
果樹は1年で一度しか収穫できない作物です。
特に落葉果樹は、種類によって花が着く場所が異なるため、結果習性を考慮しながらせん定を行ないま。
また、各作業を行なうときは昨年の状況を思い出しながら行ないま。

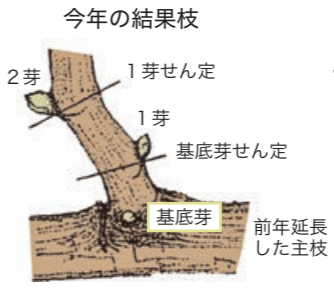


図 ブドウ短梢せん定の切り方

▽せん定
枝の仕立ては長梢仕立てと短梢仕立てのタイプがあります。
長梢せん定では、枝が残り過ぎている場合が多いので枝数を減らすことを最優先に行ないま。
短梢せん定は1芽せん定を基本とし、芽の方向や充実度で基底芽〜2芽の範囲で調整しま。
せん定後、乾燥により必要な芽が傷まないよう、図を参考に残す芽の先節で切りま。

ブドウ

令和6年度 農産物品評会

ふれあい感謝祭にあわせて、農産物品評会が行なわれ出展物が展示されました。

果実の部123点、花きの部120点、野菜の部42点、穀物の部4点の289点が出展。各賞の入賞者は以下のとおりです。(敬称略)

賞名

受賞者名
【出品品目・支店】

果実の部 (123点)

宮東 照彦
【早生みかん・蒲刈】

最優秀賞



審査員特別賞

吉田 数人
【レモン・蒲刈(下島)】

優秀賞

寺西 勝美
【キウイフルーツ・蒲刈】

金賞

石井 芳清
【いしじみかん・蒲刈】
落海 政博
【いしじみかん・倉橋東】

銀賞

原本 小枝子
【早生みかん・蒲刈】
沖原 富子
【レモン・蒲刈(下島)】

銅賞

台木 早百里
【あたご柿・広西(広北)】
小池 敏春
【キンカン・鹿川(沖)】

花きの部 (120点)

田中 明
【バラ(ジュミリア)・中町】

最優秀賞



審査員特別賞

宇都宮 淳一
【小菊(秀そのか)・三高】

優秀賞

山本農園
【輪菊(晃花の富士)・三高】

金賞

村上農園
【シクラメン(インディアカ)・大古】
(有)はなぞの野呂高原
【胡蝶蘭(ファーストレディ)・広西(広北)】

銀賞

小滝 正則
【ガーベラ(テラキュービット)・鹿川】
谷 新子
【葉ボタン(アンサンブル赤)・郷原】

銅賞

楠部 辰一
【カーネーション(サクラミナミ)・大古】
川尻 一行
【小菊(木星)・三高】

野菜の部 (42点)

松林 佑季
【キュウリ(まりん)・江田島】

最優秀賞



優秀賞

田中農園
【ナス(ラクロ)・鹿川】

金賞

三原 八重子
【カンショ(紅はるか)・広西(広北)】

銀賞

玉田 裕美
【キャベツ・郷原】

銅賞

木村 勇作
【キュウリ(まりん)・江田島】

穀物の部 (4点)

荒谷 勝利
【玄米(ヒノヒカリ)・郷原】

最優秀賞

